

原爆先生の授業

5月26日(土)

馬場桜花

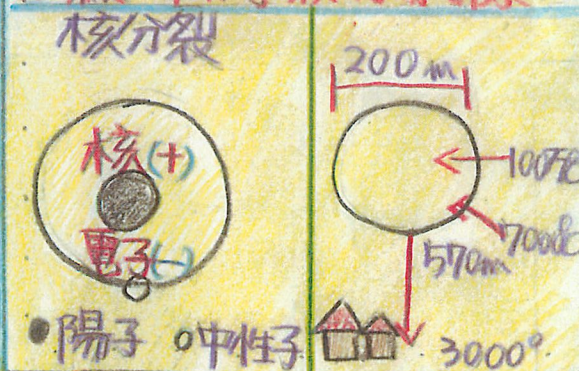
原爆

8月6日8時15分にカメラのシャッターのように光り廻りがし、熱くやけどをしたように感じた。池田さんは手で目をふさいで親指で目をふさいだ目をあけると建物のガラスなどがゼンぶとんでいた。命令で爆心地の紙屋町へ行った。はじめは人間のすがただったのが市内へ行くほどひどく全身が真赤になっていくほど、全身やけどをしたという話と、かみのけがないひとなんかたくさんいた。じつくの底から出てくるという声があふれていた。ハ丁堀につくと周りがガレキだらけで灰色の景色、ゆれたガラスのはへんも消えていた。燃えているところは全部炎の海で水がないので燃えている。家をまたおとし火を消していた人をさがそうとしてもかしまだらけで見つからない。防水おけの中を見てもみると釜身がねじうでゆでたように赤くなりみんな同じ姿をしていた。元安川を見てみると川は満たんに入っていた。水はほとんどなくなり、たくさんの方が川の中にいた。空た人を川の上にはうぼろごともすまいにおいで池田さんはあうむしてしまたせんぶはこび終ったのは三日目においがかつまくつよくかっていた。その遺体にかソリンをかけて焼いた。一度ではなかなか焼けないので何回もかけて焼いていった。その8月9日朝にまた新

型爆弾がまたおとさるという言葉とがいた。広島ではなく長崎におとされた。なぜ広島に原爆がおとされたのかというところにはアメリカ人がいなという思いやりがあったので広島におとされた。そのおとされた原爆にはリトルボイという名前がつけられていた。そのリトルボイをつんだエラゲイはチベットたいすのお母さんの名前だった。リトルボイには800のウラン(燃料)が(丸)が入っていた。電話局の中にいた人は助かっていた。電話局はかたいコンクリートでできていた。だいたいぶらぶらだった。広島、長崎は原爆がおとされてからすぐに復興が始まった。それは放射線が世界へとばされて広島、長崎はそんな被爆してないから、たので大丈夫だった。8月15日までに帰隊するという命令があり8月14日に帰隊した。最初に来たときはみんな人間のすがたではなかったが帰隊するときはみんな人間のすがただった。

広島の人 → 35万人
 被爆者 → 24万人
 死者 → 14万人
 死亡率 → 40%

原爆のいりよく
 熱線 衝撃波 放射線



原爆先生の授業



池田先生

5月26日(土)
杉田結衣

アメリカの爆弾が日本に落ちる瞬間

アメリカの爆弾が落ちた瞬間カメラのフラッシュのように一瞬に白の光、黄の光、オレンジの光、赤の光がいったいに光ってまわりが全部、色が灰色だけになりました。人も火でひふかかたり、重傷にかかってく人たちがたくさんいました。

爆弾が落ちた後

島から町へ行ってみたら島と同じように灰色だけになっていました。人も立ってウロウロしながらゆっくり歩いてました。おけの中にも人が丸くなって入っていて、3日間も入っていて体がたまって動けなかった人が何人もいました。けが、重傷、動けない人たちを、トラックの中に入れてました。それを聞いた時は、とてもびっくりしました。

電話局のトイレにいた人が助った人もすごいなと思いました。

放射線

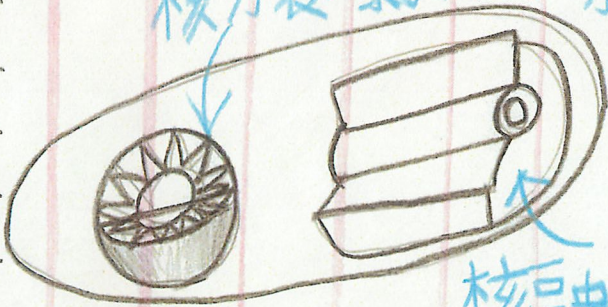
放射性物質はウランの核とおなじようにじんかいされて放射線が出来る。

放射性物質は、水やほこりにくっついていきます。

放射性物質がどこにあるのかわかなくて安心しました。

放射線は、いつも自分たちのまわりや建物のまわりにもいつも飛びまわっています。

核分裂爆弾(ウラ原爆)



核融合爆弾

(水素爆弾)

織田信長新聞

5月26日(土)

信長(信長) (信長)

伊くがこの授待、てもトラッ
 業で学んだのクは着きま
 は、原子爆弾のせん。8時15
 スゴさと怖さ分びる急に
 です。5月26日閃光のよう
 に池田さんがな光がよし
 教えてくれたもうさんた
 のは、広島と言ちを襲いま
 う場所ので起っした。気が付
 た、本当の事くといつもの
 した。池田さん訓練のおかげ
 のお父さん(池で、耳と目をお
 田よしそうささえたままた
 人は軍人でしおれりまし
 た。よしそうさたしかレトラ
 人は、昭和20ム缶から10m
 8月6日午前くらいり跳はさ
 8時には着く予れてりました。
 定の荷物を乗周りをみると
 せたトラックトラックが一台
 を待ていまし来ましたそれ
 た。待ている場はよしそうさ
 所は水が満た人たちが待て
 されてるドラいたトラックで
 ラム缶がい、はした、トラックに
 いあ、てその日乗リこんであ
 は、スゴイ暑かたりを見る
 たりしくトラックが進む
 ム缶の裏影ににつれて、町の
 隠れて待てり人々の様子が
 ました。しかし、とどく、焼け

処を負せりる人や皮が
 はがせ(腕)はがせ(腕)
 人なとが腕をツンビの
 ように手を上げて歩き
 軍人さん助けて、ト
 ラックに手を出したリし
 ます。軍の命令で、爆心地
 の遺体の確認
 をしました。けれ
 となかなが見つ
 ならず、井戸のよ
 うなところにて
 遺体を見つけて
 一緒に引き上
 げようと、遺体
 の腕をつかむと
 皮がそる。とむ
 けたそうです。
 川に行く、裸の
 遺体がいはい
 あて、たぶん火
 の中暑くて、服
 をぬいで、川に
 とびこんたけ
 と、沸騰して

死んでしま。たの
 です。でも爆心地から
 150mと言ふ近さを、生き
 ていた人かあります。その
 人は、電話局と言
 う場所の地下のト
 たりたため助か、たので
 す。さぎのよしそう
 さんも、トラム缶の裏
 にいたから助か。た
 のです。と言おう話
 をして、原子爆弾の
 話しになりました。
 それで知。たのは、原
 子爆弾の大きさが、ゴ
 ルフボールくらりの
 大きさを、あんなに
 が、死んでしま。たこ
 とです。当時、広島
 の人口は、35万人で、被
 害者は、24万人、死者14
 万人もでたので、原爆
 て、恐しりた。と思いま
 した。今日思。たのは、日
 本でそんななびり事
 があ。たこと。す。戦
 争があ。たのは、知
 いたけど、そんな人が
 死んだり、苦しんだり
 したとは、思いませんで
 した。

死んでしま。たの
 です。でも爆心地から
 150mと言ふ近さを、生き
 ていた人かあります。その
 人は、電話局と言
 う場所の地下のト
 たりたため助か、たので
 す。さぎのよしそう
 さんも、トラム缶の裏
 にいたから助か。た
 のです。と言おう話
 をして、原子爆弾の
 話しになりました。
 それで知。たのは、原
 子爆弾の大きさが、ゴ
 ルフボールくらりの
 大きさを、あんなに
 が、死んでしま。たこ
 とです。当時、広島
 の人口は、35万人で、被
 害者は、24万人、死者14
 万人もでたので、原爆
 て、恐しりた。と思いま
 した。今日思。たのは、日
 本でそんななびり事
 があ。たこと。す。戦
 争があ。たのは、知
 いたけど、そんな人が
 死んだり、苦しんだり
 したとは、思いませんで
 した。

原爆

新聞

松井晃洋

原爆のおそろしさ

8月6日

広島 曇 原爆投下が確定した。

8時15分頃に爆弾が投下され、**黒・白・赤**のようになり、目の前がひかたき、

燃え尽き、おそろしく、おしつけられるように、

10mもそばに落ちた。けして、美しいとは言えない、

いばけねこのような雲がおそろしく、

すぐにひかきに、あた人々をたすけようとした。

「へいたいさん」とわめいてくる。たまげようと、手を引け

ても、肉がはがれおち、たおれる人もかなりの目星。

二日目には帰隊することになり、そのひかきをおおひ

かいたいさん」とわめいてくる。たまげようと、手を引け

でも、肉がはがれおち、たおれる人もかなりの目星。

池 / 由さんへ

原爆のことをいろいろおしえてくれて、ありがとうございます。60年前にそんなことがあったなんて、いまでもまだ信じてられません。戦争は何もある国民が一番むかひをうけてくるなんて、とてもあなしいです。でもそんな人たちを思いをわけてあげて、

今をしっかりと生きていこうと

思います。

戦争返対 平和

原爆

新聞

中田根志郎

この原爆の話をしてくれたのは池田さん
とゆう人です。池田さんの父は17才で入隊した
そうです。8月6日の午前8時15分に
原爆が落ちて、これまじかひどい人になるとかわか
はかれてしまいました。

その原爆の名前はリトルボーイ ね、せん、しょう
げきは、放射線、爆発した場所、場所は、
5700m中バ温度は約100万度、
3000度だ、た、た、た、た、た、た、
原爆は500kgウランかプルトニウムで、
した時、ウランかプルトニウムを800gしか
た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、

しょうげきは、の速さは、毎秒500m、
3000m、つまり、しょうげきは、
速いんです。

放射線は、それほどの、
それは、風で世界中に、
原爆が落ちて、
電話も、よくの、

人口

35万人

死傷者
リフ

40%

た、た、た、た、

原爆の秘密

五月二十六日(土)

平岡 凌

広島に落ち

とされた原

爆とは

広島に落ちたとされた原爆

は直径約二百m 中心部約百m
の外周は太陽の表面温度より
千とも高い約モ千と、地上でも
約三千とという熱を発生しました。
原爆の中にはウランという元素
が五十kgも入っています。けれど、
爆発したのはたったの八百gでした。
(六百gはちょうどゴルフボールくらい)

原爆の威力

原爆の威力は大きくハカけて、三つあります。

一つ目は熱線です。この熱線を受けた人は、顔の半分をやけどし、手足がやけどして皮が剥がれ、先に

垂れ下がっています。ほくたろか普通に歩く時は手を下にやって歩いていますが熱線を受けた人はななめ前方に両手を上げています。理由は普通に歩くとうでとれきがこすれて痛むからです。

二つ目はしゅげき波です。しゅげき波は爆発後秒速五百mの速さで進みます。これは音速よりもはるかに速いのでしゅげき波が起きた後に爆音が聞こえます。爆発したあとしゅげき波は二回起こります。一回目は爆発したときに起こるもので二回目は一回目のしゅげき波が地面に当たりはね返ってきたものです。しゅげき波によつておかれた建物のがれきは水じょう気と一緒に空に上がり雲となつて横に広がります。これが原爆雲と呼ばれるキノコ雲です。

三つ目は放射線です。テレビでよく言われる放射性物質とは原子が二つにわかれつ、その二つが放射性物質です。原子のわかれつする回数は二兆の二兆倍なのでそのかける二倍の放射性物質が出たという事になります。放射線はとびまわると水やほこりといつしよに空気中に吸ひこみます。吸ひ込むとかみのもがめじたりがんになったりして死んでしまうこともあるほど危険です。

原はくのいかに

原はくのいかに前記したように、「ねせん」
 「しょうげきは」放射能の3つに分けられます。
 「ねせん」は原はくがはくはった時に起こります。
 そのばくはった所はなんと、**100万℃**なんです!!
 そのまわりは**7000℃**!! 人間だけとその地上は
3000℃になっていんです!! 金属が溶けるのは
1200℃だからさうとう熱かったことがわかります。
 熱くて川にとびこんでも、その水がふ、どうしてまい
 さらにじょうはつし、川にはおたくさんのけたいがあたそつです。
 「しょうげきは」の速さは毎秒**500m**で音速は**350m**
 だったそうです。
 「放射能」は、今の東日本大しん災で起こったものと全く
 同じです。だからさうとうすこからたんでしょうね.....



原はくはとてまあさうしいね
 せんそうはさくたないです。



原はくによってたくさんの方がなくなりました。およそ35万人もいた広島市の人口がひびく者**24万人**、死者**4万人**となりました。原はくはおそろしいです。ウランとウランを80%しかつめてないのに(約20ルボル)原はくのいかに**ねせん**、**しょうげきは**、**放射能**の3つに分けられます。原はくで、助けた人でも病気でなくなりました。
 ひびく者で、い人は、全身ま黒くけて、ひびくがとけていたり、腹がまったり、ガラスのばんがとけてたりして、まじりました。

原はくによって

核分裂

新聞横山優人

ウランの中には**中性子**、**核**がふくまれていて、ただ「中性子」を入れると、この核がはかされる。核は、1兆倍入っているのだから、**核分裂**という核には放射能がふくまれている。
 逆に**核融合**というのがある。太陽はそれを利ようにして燃えつづけている。核融合をするためには、1億度がないと出来ない。

感想

昔の人がかわいそうでした。ひびくを受けると、何とも悪くない人たちが、ちたから、せんそうをやめてよかたなど、思いました。また、せんそうをやっている国があるから、みな、の事を考えてほしいなと思えます。

池田先生の特別授業

特別授業

私は今日、池田しんとく先生の特別授業を受けました。池田しんとくさんとお父さんの話や放射性物質のこと、うちあげられた爆たんの話を聞きました。

放射性物質

原爆の放射性物質は地球全体に広がりました。爆たんから放射性物質がとんだそうです。

爆たん

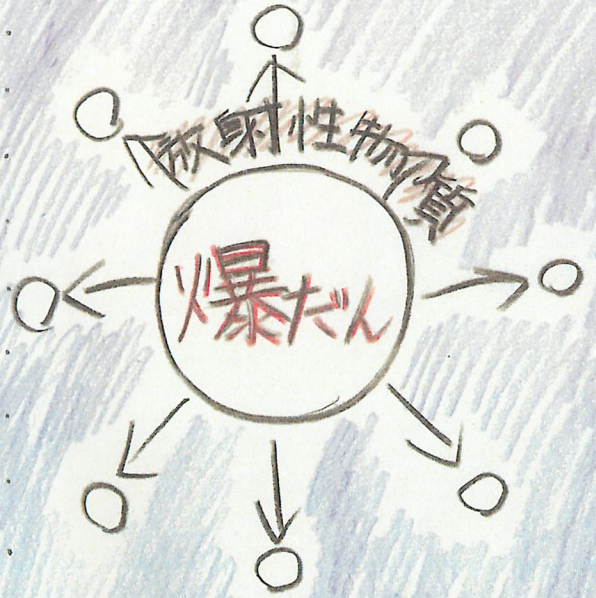
広島にうちあげられた爆たんはウランとプルトニウムという爆たんです。



感想

私は原爆のことを全然知りませんでした。でも池田先生の話を聞いて、いろいろなことがわかることができました。原爆のことだけでなく、放射性物質のこと、爆たんのこと、3月11日におきた地しんのことまで、わしく教えてくれました。たかさん、おかげで原爆のことだけでなく、ほかのことも、たかさん、知ることができました。

林実穂



原爆新聞

原爆について

五月二十六日に、池田先生による原爆のお話がありました。

原爆とはアメリカ軍が広島や、長崎などに落とすした爆弾の事です。あわせて30万人以上の人がなくなりました。爆弾による被害はものすごく大きかったのです。顔半分やけとえおたり、ひふがはがれている人もいたそうです。8月8日早朝いたいたをいたいのしゅうよう場所までおんぶしてつれて行きました。うじがわいていたので、何回も、オートしたそうです。

けんし爆弾の熱は球体の中心温度は、約100万℃です。球体の外周温度は約7千℃です。衝撃手波の速さは毎秒500m (音速は350m/秒)です。広島市人口は35万人で被爆者数24万人で死者数は14万人です。

まごの

戦争が長く続いて、戦争が第一とされ国民は、くるしむ生活がおおかた。

日本全国が空襲にあり、広島や長崎などに爆弾落とされ

多くの人々の命がなくなり、なりました。

感想 どれだけ原爆がこわいのかわかりました。音の人たちがどれだけくろろしいていたのかも、わかりました。本当に原爆をなくしてほしい人たちがわいて、うたえたいです。いまこの時代に生きられてるといふのは、本当にうれしいです。本当に勉強になりました。またこういうきかいかあたら開きたいです。



原爆先生の授業新聞

横澤 賢 2月1日

原爆先生の授業

8時30分池田さんは、広島市の
 消防士の仕事にいたそうです。
 全身が焼けました。連れの親を助けた
 助けを求めた人は、つてもあけて
 したそうです。
 八丁堀はもう、灰色のけしきになって
 いたそうです。
 5時すぎ、元安川にむかたのです。
 8月8日遺体の焼却にまわし
 た。9月9日もう一度遺体の焼却した
 そうです。1945年10月、先で原爆
 爆たんが投下され、爆ぼつとこられました。
 爆心地は、島病院に落ちました。
 落とされた原爆たんが、あまのまじり
 という名前でした。しゅげきの速さは
 500mと、うやわやしています。
 広島の人口は35万人で、被爆者
 が24万人です。そして死者14万人で
 す。原爆たんが、刻の別衣します。
 一兆の死が、みたいなものですか。
 放射線物、竹筒も、あいて、すわ



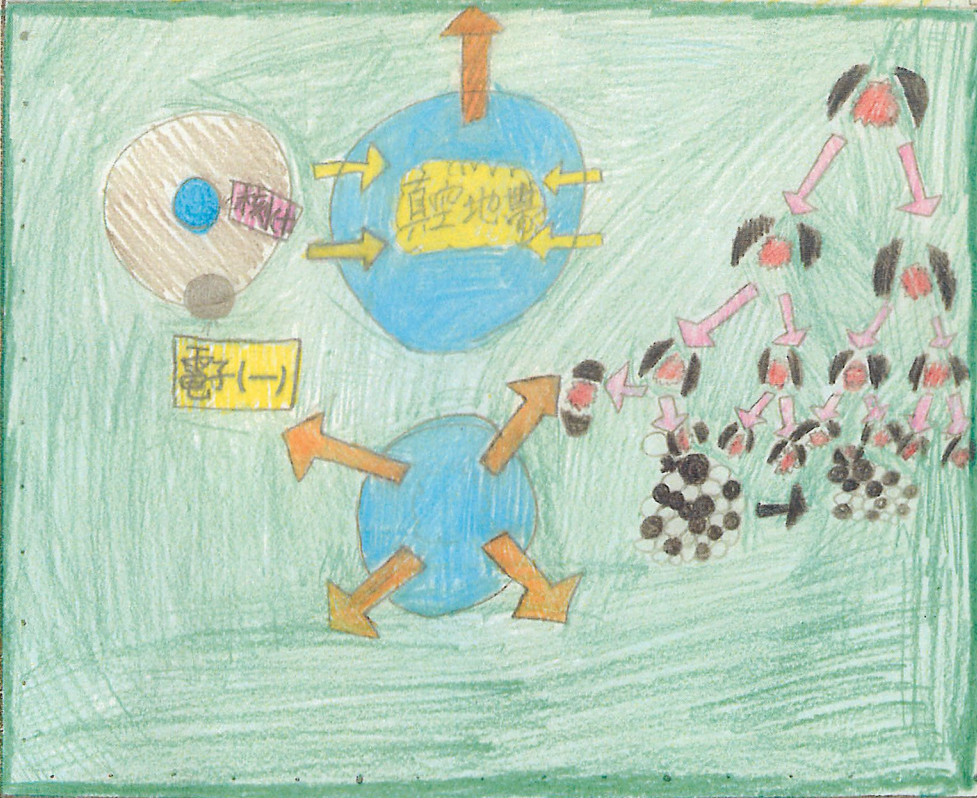
池田先生へ

この前の
 授業を
 りごと
 せま
 まの
 いん
 にな
 いろ
 を聞
 いて

涙が
 なが
 りま
 した
 とき
 がい
 があ
 った
 とき
 がい
 ました



この前の特別授業、まをありがとつこさ
 ました。私は勉強不足であままけか
 るくて、痛かでした。話を聞いて
 びくびくしました。が、楽しい授業です。
 池田先生に、アリスを見せたかた。
 あ、このアリス先生。
 成心木



原爆新聞

黒澤 宏平

戦争

恐ろしさ

昭和20年8月6日午前8時15分広島県広島市に原爆(リトルボーイ)が落とされました。この

原爆で広島市の人口35万人中被爆者数24万人で死者数が14万人、死亡率40%で5人に1人が死したそうです。原爆のはかり力はともがんにようなビルでもちぎる形のこぼりるかなみは、からっぽでガラスもすべてわれていて、生物は、いびきもいなくなりました。

死体収集

たくさん死体を火葬するため

河川敷に集めもやしたそうです。死体はともおもくて、くさくて作業はともたいたったそうです。そして燃えさかな死体は、もろがリンをにかけてはげしくもやしてしまわうそうです。ごうして死体をしかりもやさないといけな理由、死体がくさってしまふからたそうです。もしぼくだったらくわくて死体を運ぶのもやだしかわいそうです。死体をもやすのもできないう思います。だからやっぱり兵隊さんは、すごいなあと思いました。

原爆

リトルボーイの長さは、約

3メートルで重さは、3トンで直径約0.7メートルで細長い形をしていたらしいです。リトルボーイには、3つの大きな被害があったそうです。

熱線

原子爆弾が爆発するとき

でできる火の玉の温度は、中腰部で10万度をこえ、大きさは、十秒後に最大直径28メートルにもなりました。

爆風

爆風のしゃんかん熱によって空気が急にふくらんで

数十万気圧というものが、この圧力をもった爆風がは、せいにしました。この爆風ではほとんどすべての建物がおしつぶされ、人はふきとばされたり家のしたじきになつたそうです。

放射線

大量に放射線がふりそそ

ぎ、これが人に大きな被害をもたらししました。

終戦

8月9日長崎にも原爆がおこされ8月15日

やと戦争は終りました。

原爆新聞

正延龍馬

1 原爆 生先のい業

今回生くは原爆生先のい業をく受ナました。
 主が、原爆のはなしをします。まず原爆は、爆発するにハかくぶんれつをおこして爆発してします。だいたいゴルフボール一個分約800gの中には約1兆x兆のウランが入っています。そして原爆はよくはつしたときに出るけありの色は決まてきれいとゆつことのできない色でした。その色は赤・青・黒・白・紫・黄・緑のまぜた色だった。
 爆発したとき火災を消しに行くじょうぼうしがとおれないくらいがれキがあつてまわりの家をこわすのがせいじだつたさう。



2 原爆のひがい

ぼう火用水の中に入っている死体がありました。その死体の入っていた水はともあつくなつていて人がまるでゆであがているふうな次女だつた。しかもそれが何個もあつた。川の中の水はほとんどなくて人間がおりかさなるまうにしよういてりた。死にまうがものすごく何度かはまけがして何度もまおうとした。

感想

原爆のひとまの分かる2週間だつた。こんなかんきつをこころる人間がともまあるかに思へた。広島島げん爆の今までしうなかつたことまで知れたのでともべんきえうになつた。これからもせんまうに反対してきます。



原爆新聞



5月20日

矢田部三男佐

ぼくは最初原爆というの
 どういうふうの人のことか
 と思いましたが。先生に
 どの時分に分におちたは
 どのことらしいです。ば
 見たときすずくさしい
 となことをする人だろ
 した。ぼくは原爆先生
 の授業はやる前におち
 りました。理由は原爆の
 を知ることはすくいと
 ほどかばりげなほう
 ぼくのりそなにかなし
 ききたくならいかり
 ここのいままはしんけ
 知ってほしいから。ち
 たりしました。Xもした
 ぐが。あつたことい
 ままのガラスはくそ
 ぶつ。つのもやがた
 など。かいのばりあ
 びす。昔と人間が
 びたりなあまかた
 いたいとい。うの
 とか。ぼくがうすい
 水がこしまひしか
 の水もまふんたつ
 からいよ。うたい
 くて。かたかた
 よう。あくなを
 川にはいりまし
 炎た。どいり
 からになつた人
 た人かと思

11時にまた新は
 る。この時
 たい。どいり
 原爆先生が
 いも。か
 力の人か
 ひさ。その
 はん。その
 ら。この
 と。ぼく
 り。よ。ぼ
 くら。た
 り。や。ん
 た。め。に
 わ。け。が
 ひ。も。さ
 む。な。ん
 の。こ。と
 た。つ。し
 ぼ。く。か
 せ。た。あ
 し。み。の
 と。お。も
 ま。た。な
 こ。お。も
 ぐ。ん。な
 こ。わ。か
 お。も。い
 ほ。く。と
 こ。と。を
 た。い。す。



原爆先生の授業

あべ まきこ
阿部真輝子

私は今日
池田先生に

いろいろなこと
教えてもらい
ました。
いろいろ原爆
について教えて
もらいました。

池田さんいろいろ
教えてくれてありがとう
(キョウ) (キョウ)

広島で使われ
た原爆の
名前はリトル
ボーイです。

あんまりよくおぼえ
てないです。...

たしかこんな感じ。

父池田
さんが
みたもの
とは

人間のよう
な人間では
ないよな



両手を前に
出したがいたな
りないよつにして
思ったこと
ソビもそんな
感じがな



リトルボイ

ウラン 50kg

800g
リトルボイ

昔は
死亡率40%
ウラン800g



父(池田さん)
原爆博物館に
行ったとき
人形みたとき
いかにいすぎること
思ったこと
もとおそろしいと考え
る...



全体的に思ったこと

聞いててな

いやなことあったけど
勉強になりました。

原爆新聞



武田萌花

私たちは授業さんかの時に原爆先生の授業をしました。原爆先生は池田さんとごっつ男の人がきました。

池田さんはお父さんの話をしてくれました。

お父さんの名前は池田義孝さんでした。

義孝さんは2班の班長でした。

義孝さんたちの班は9人りました。

2班の人たちはめりれいさうけたのでまっています。

でも中々きませんでした。

8:00になってもきませんでした。8:10分すぎたあと白黄赤い光しばらく続いていました。

最初は何がおったのかわかりませんでした。

そして班の人は9人中2人がけがしました。

700mくらい行くとこでひなんする人であんまりおりました。

最初の方はふつつのトでした。でもだんだんふかたうととのびくる人たちがきました。

その人たちは助けに来てふといましました。

そして手をのびしてその人が手をつか

みました。

でもひんかはかれおちてむりでした。そして2班の9人は広島島の消火をしようとしていました。

そして黒いけいになる死体を見つ

けました。その死体は四をふるあせながら

なにかをうったえていた。

そしてまわりをみわたすとま

ありははりの世界でした。

生き物なんかはいるのかわからない

そして消火キキッがおけると火

は人を燃しはじめました。

したいの数が多すぎた。なかなかな

とさなかつたそうです。

そしてまた爆たんがまたあてさる

ことになりました。

なので班の人たちもふるえていました。

約900mのところから相生橋めがけて

おちました。

そして約200mはなまたところにおちた。ウラン90%内80%をつつた爆たんが

ちてきました。

そのあとに問題が出ました。

その問題に生解したのは先生でした。

そのあとにまた問題が出ました。その問題にははるまを生解しました。

池田先生へのメッセージ

池田先生の授業で昔はどんな事

があったのとかを一部だけ知れてよかったです。

最後に池田先生か...物にきょうみ

があつてもしも賞をえと。たらかなすうして



原爆先生の特別授業新聞

五月二十六日(土)

八木月夏

この話は池田よしろうさんが実、ぎ五分、十分たってもなんの変化
際に体験した物語です。

八月六日の早朝、物資輸送の
任務により広島市の中心部に
向かうことになった。そのとちう時

間遅れのトラックまっていた。午前
八時十五分、いしゅんのせんこうが
走り、ちメートルほどとばされいば
らく失神していた。空に赤とむら

やき色のまざった雲がうかんできた
命令をはたすため広島市内
に向かった。トラックは走ってい
ると両手をななめ前に出してあ

るいている人がいた。手にはひふが
ぶらさがっていた。助けを求めて
いる人をトラックに乗せようとした

らひふがはがれおち、たおれてしま
う人もいた。人をトラックに乗せて
ひなんさせた。八月七日消火

を終わらせた。遺体処理の命令
がだされた。遺体をさがしたが発
見できなかつた。防火用水の中に

人が足をかかえて入っていた。水が
半分くらいしか入ってなかつた。
川を見たら死体がうかんでいた。

遺体を焼却するためにはなかに
せおて焼却場所に運んだ。
遺体のおいでなんどもはき気

がしてなんどもおうとした。
八月九日十二時頃 新形土はくだ
んがおとされる。だが十二時がす

もなかつた。

八月十三日、帰ることを命令された
帰るとちう男の子に服をひきは
れた。ひばられてがれきの中に入たら

男の子の姉が足をおさえていた。
足にはすごいけがをしていた。足の
傷口から大量のうじむしがわきでて

いた。ピンセットがなかつたから手でう
じむしをとりました。
それから六十年一通の手紙がと
どいた。

広島島におとされた原爆にはリト
ルボリーイ(小な子)というあだ名が
あった。リトルボリーのかわくの数

ウラン五十母。原子爆弾がおち
たあとの球体の中心温度百度球
体の外周温度七千度。しょうげきは

の速さ毎秒五百メートルぶつうは三百五
十メートル。広島島に投下された原爆
で十四万人がなくなつた。



感想

原爆雲

原子爆弾のことははだしのゲンでみた
ことがあります。すごくひどいなと思いま
した。なんで原爆をおとす人がいるのか

とてもふしぎです。原爆でなくなった方
達がとてもかわいそうです。よしぞつ

さんきつとすごく大変だったと思います。
兵隊さんはすごいなあと思ひました。

小野方之地区物故